

一八七〇番

春雨はるさめは いたくな降りそ  
桜花さくらばな いまだ見みなく  
に 散ちらまく惜をしも

一八七一番

春はるされば 散ちらまく惜をしき  
梅うめの花はな しましは咲さ  
かず 含ふみてもがも

一八七二番

見渡みわたせば 春日かすがの野の辺へに 霞かすみ立ち 咲さきにほへる  
は 桜花さくらばなかも

一八七三番

いつしかも この夜よの明あけむ うぐひすの 木こ伝つた  
ひ散ちらす 梅うめの花はな見みむ